

令和6年3月

関係者各位

池尻小学校長

間宮 英二

今年度の改善結果及び次年度に向けた改善方策
(学校関係者評価委員会からの報告を受けて)

令和6年度重点目標の取り組みに当たり、令和5年度学校関係者評価委員会報告書でご指摘いただいたことを基に、来年度の重点目標について以下のように進めて参ります。

重点目標1

「主体的に考え、協働的に学び合える児童の育成」

- 児童アンケート「授業では考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」の項目では、肯定的評価が99パーセントを超えていた。校内研究においても、主体的対話的で深い学びの実現をめざし、取り組んだ成果と考えることができる。「せたがや探求的な学び」の実現に向け授業を展開していくのはもちろんだが、テストなどの点には表れにくい学びの深まりを見取っていけるよう、さらなる手立てを考えていく。
- 児童アンケート「先生たちは、ていねいに指導してくれる」の項目でも肯定的な回答が多く見られる。しかし、池尻小学校全児童がそのように思うように、授業研究や研修、そして、教職員の児童との関わり場を多く設定し互いのよさを感じ合う場を多く設定していく。

重点目標2

「主体的に運動しようとする児童の育成」

- 昨年度同様、児童、保護者とも早起きに関しての項目の肯定的評価が低かった。学校関係者評価委員会の報告書にもあるとおり、高学年の生活の夜型傾向は仕方のないことではあるが、質のよい睡眠を確保することは成長期を迎えた子どもたちには大切なことである。質のよい睡眠につくには、明るい昼間にしっかりと遊び、体を動かす楽しさやドキドキ体験を味わうことが必要である。そのために、休み時間の外遊び、体育授業での主体的な学習・運動量の確保が不可欠である。来年度に向けて、体育主任を中心にして体育授業の改善を図っていく。また、全校児童に対しての行っている養護教諭による「すこやかタイム」の健康教育は、継続して行い、指導内容を保護者にも周知徹底し、家庭からの支援を求めていく。それとともに、学校保健委員会の場を使い、大学教授を講師に招き、睡眠や運動の必要性を説くなど児童の健康についての講演をいただくことを計画していく。

重点目標 3

「豊かに関わり合い、互いに高め合う児童の育成」

- 地域アンケートの「地域の人や施設を教育活動に生かしている」では、昨年度に比べて、否定的評価が少なくなり、学校関係者評価委員会からは今年度の取り組みの成果としてあげられている。しかし、この「関わり」についての項目は、学校経営方針の大きな柱として考えているため、肯定的評価が大幅にあがるように、取り組みの更なる推進・改善の必要である。地域人材のゲストティーチャーや学び舎の学校・保育園・幼稚園のとの交流など、さらに新たな取り組みの方向を探っていく。また、その取り組みでの児童の様子について、保護者や地域の方々へ学校ホームページや学校便り等で適宜周知していく。
- 児童・保護者・地域・教職員のそれぞれの関わりについてその取り組みについて、数値で評価したり見取ったりすることには難しさがある。しかし、それらの取り組みによる成果や児童の輝いた姿を見取り、適宜評価し広めていくことで、互いの関わりが深まると共に、児童の自己有用感を高めることができると考える。来年度は、今年度にも増して、「関わりに」着目し、よさの見取りを行っていく。